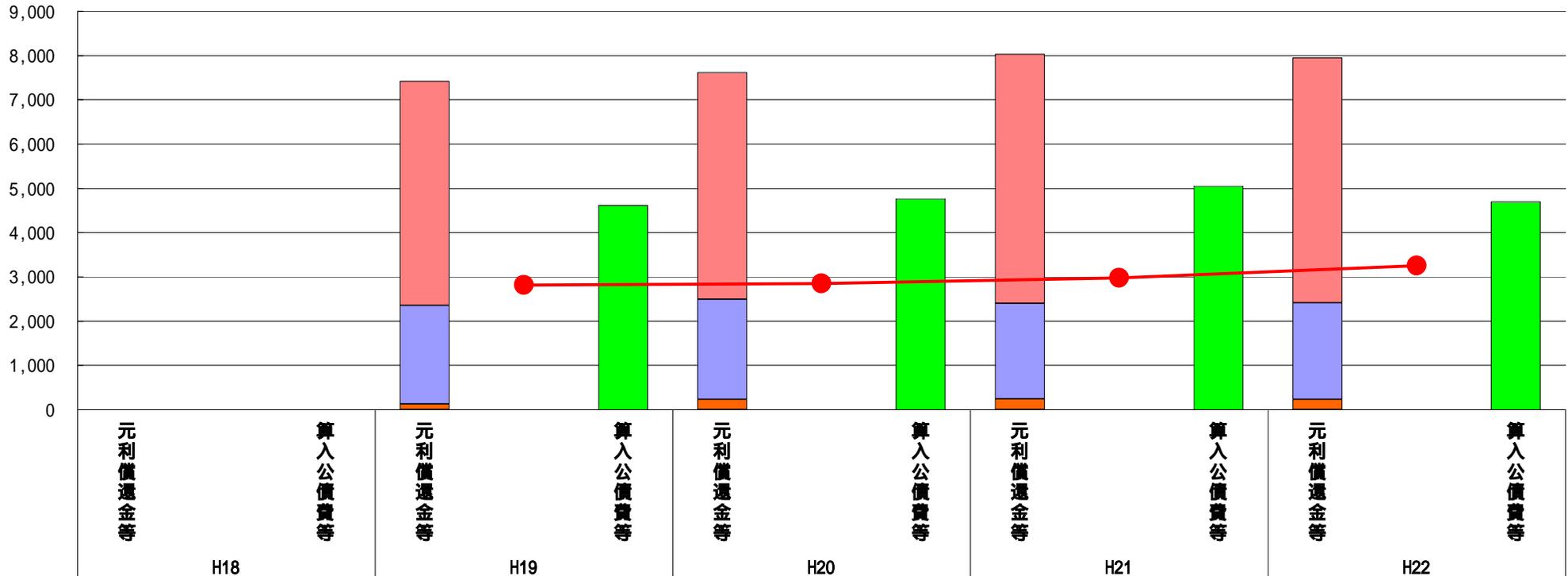


(7) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

平成22年度

山梨県北杜市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H18	H19	H20	H21	H22
元利償還金等(A)	元利償還金	-	5,073	5,116	5,630	5,534	
	積立不足額考慮算定額	-	-	-	-	-	
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-	
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	-	2,225	2,264	2,158	2,185	
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	122	232	245	229	
	債務負担行為に基づく支出額	-	3	2	2	1	
	一時借入金利息	-	-	-	-	-	
算入公債費等(B)	算入公債費等	-	4,612	4,762	5,058	4,692	
(A) - (B)	実質公債費比率の分子	-	2,811	2,852	2,977	3,257	

分析欄

市債の繰上償還などを行ったことにより元利償還金等については減少したものの、公営住宅使用料を公営住宅建設事業債に充てる特定財源や元利償還金、準元利償還金に係る基準財政需要額の減少により算入公債費等が減少したため比率は引き上がった。

平成19年度決算と平成20年度決算の元利償還金は特定財源の額を控除しており、満期一括償還地方債に係る年度割相当額は積立不足額を考慮して算定した額を含んでいる。

平成23年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。